

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年3月9日
【四半期会計期間】	第11期第3四半期（自平成29年11月1日至平成30年1月31日）
【会社名】	株式会社gumi
【英訳名】	gumi Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 國光 宏尚
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番7号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿四丁目34番7号
【電話番号】	03-5358-5322（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 本吉 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第10期 第3四半期 連結累計期間	第11期 第3四半期 連結累計期間	第10期
会計期間	自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日	自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日	自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日
売上高 (千円)	18,726,760	21,053,847	25,933,658
経常利益 (千円)	1,351,384	1,035,601	1,734,017
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,100,794	832,255	1,383,379
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,160,182	850,025	1,389,348
純資産額 (千円)	12,681,599	14,063,837	12,941,686
総資産額 (千円)	19,948,399	23,603,132	19,659,953
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	36.88	28.48	46.65
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	36.57	28.27	46.29
自己資本比率 (%)	63.6	59.2	65.8

回次	第10期 第3四半期 連結会計期間	第11期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年11月1日 至 平成29年1月31日	自 平成29年11月1日 至 平成30年1月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	18.66	22.15

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、平成29年6月12日に株式会社gumi VRを設立したことに伴い、新たに「VR/AR事業」が加わりました。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを追加しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

主要な関係会社については異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを追加し、報告セグメントをモバイルオンラインゲーム事業及びVR/AR事業と定めております。各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めてまいります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は21,053,847千円、営業利益は1,152,718千円、経常利益は1,035,601千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は832,255千円となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

（モバイルオンラインゲーム事業）

当社子会社の株式会社エイリムが平成25年7月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア（日本語版）」及び当社が同年11月に配信を開始した「ブレイブ フロンティア（海外言語版）」の売上が配信開始後の期間経過に伴い減少いたしました。一方、株式会社スクウェア・エニックスと共同開発し平成27年10月に配信を開始した「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス（日本語版）」及び平成28年6月に配信を開始した「FINAL FANTASY BRAVE EXVIUS（海外言語版）」、平成28年1月に配信を開始した「誰が為のアルケミスト（日本語版）」、平成28年4月に配信を開始した「クリスタル オブ リユニオン（日本語版）」等、既存タイトルが好調に推移し売上増加に寄与しました。

また、一部の既存タイトルのTVCMの放映及び複数の新規タイトルのリリースに伴う初期プロモーションの実施により広告宣伝費が増加したこと等により、販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、売上高は21,053,547千円（前年同期比12.4%増）、営業利益は1,349,063千円（同8.8%増）となりました。

（VR/AR事業）

VR/AR事業に関しては、将来、市場の急拡大が見込まれるVR/AR市場において早期に優位なポジションを築くことが重要な課題であると考えております。当社グループは、市場の状況に合わせて投資を行っていく方針であり、市場の黎明期においては国内外にて主にファンド出資を通じたVR/AR関連企業の成長支援を実施し、また成長期においてはコンテンツの開発を主体的に取り組み、VR/AR事業の収益化を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、Tokyo XR Startups株式会社及び第1四半期連結会計期間に新たに設立したNordic VR Startups Oy等におけるインキュベーションプログラムを通じ、世界を代表する企業の育成と輩出を目指して国内外のVR/AR市場におけるスタートアップ企業に対し様々な支援を提供いたしました。

また、当社グループがジェネラル・パートナーとして参画しているVenture Reality Fundを通じたグローバル投資を実行し、有力な技術・コンテンツ・人材を保有する企業との戦略的な連携を図ってまいりました。

この結果、売上高は300千円、営業損失は196,345千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,603,132千円となり、前連結会計年度末比3,943,179千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、売掛金及び投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は9,539,295千円となり、前連結会計年度末比2,821,028千円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は14,063,837千円となり、前連結会計年度末比1,122,150千円の増加となりました。なお、自己資本比率は59.2%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	98,878,000
計	98,878,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年1月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成30年3月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	30,291,000	30,291,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株でありま す。
計	30,291,000	30,291,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成30年3月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行されたものは含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年11月1日～ 平成30年1月31日 (注)	66,500	30,291,000	20,320	9,076,072	20,320	127,178

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は、第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期連結会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 980,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 29,241,500	292,415	-
単元未満株式	普通株式 3,000	-	-
発行済株式総数	30,224,500	-	-
総株主の議決権	-	292,415	-

(注)1.平成29年12月14日、平成29年12月21日及び平成29年12月22日に新株予約権の行使により、発行済株式総数が66,500株増加しておりますが、上記株数は発行前の数値を記載しております。

【自己株式等】

平成30年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合(%)
株式会社gumi	東京都新宿区西新宿 四丁目34番7号	980,000	-	980,000	3.24
計	-	980,000	-	980,000	3.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成29年11月1日から平成30年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年5月1日から平成30年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,456,731	13,528,479
売掛金	2,981,248	3,345,472
その他	1,199,454	1,393,252
貸倒引当金	84,579	-
流動資産合計	15,552,855	18,267,204
固定資産		
有形固定資産	263,877	275,482
無形固定資産		
のれん	95,432	43,750
その他	616,860	1,063,817
無形固定資産合計	712,292	1,107,568
投資その他の資産		
投資有価証券	1,047,056	1,701,440
その他	2,083,870	2,251,436
投資その他の資産合計	3,130,927	3,952,876
固定資産合計	4,107,097	5,335,927
資産合計	19,659,953	23,603,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	414,253	417,181
短期借入金	750,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,751,200	2,850,936
未払法人税等	318,255	314,669
賞与引当金	236,428	215,357
その他	1,434,387	1,102,640
流動負債合計	4,904,525	5,000,785
固定負債		
長期借入金	1,665,500	4,385,730
資産除去債務	136,762	138,307
その他	11,478	14,471
固定負債合計	1,813,740	4,538,509
負債合計	6,718,266	9,539,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,996,449	9,076,072
資本剰余金	2,990,099	3,069,722
利益剰余金	2,037,432	2,869,688
自己株式	1,058,400	1,058,400
株主資本合計	12,965,581	13,957,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,575	34,088
為替換算調整勘定	320	42,846
その他の包括利益累計額合計	23,895	8,758
新株予約権	-	72,144
非支配株主持分	-	25,851
純資産合計	12,941,686	14,063,837
負債純資産合計	19,659,953	23,603,132

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	18,726,760	21,053,847
売上原価	13,485,775	14,560,281
売上総利益	5,240,984	6,493,566
販売費及び一般管理費	4,000,852	5,340,847
営業利益	1,240,132	1,152,718
営業外収益		
受取利息及び配当金	683	1,355
経営指導料	7,200	3,200
補助金収入	27,347	5,433
持分法による投資利益	142,813	-
その他	5,669	11,788
営業外収益合計	183,713	21,778
営業外費用		
支払利息	11,375	24,124
為替差損	52,421	39,768
寄付金	-	6,000
持分法による投資損失	-	67,332
その他	8,664	1,670
営業外費用合計	72,461	138,895
経常利益	1,351,384	1,035,601
特別利益		
持分変動利益	-	138,714
投資有価証券売却益	311,922	-
特別利益合計	311,922	138,714
特別損失		
減損損失	-	248,470
投資有価証券評価損	152,938	-
事業構造改革費用	38,206	-
その他	34,766	22
特別損失合計	225,911	248,493
税金等調整前四半期純利益	1,437,395	925,822
法人税、住民税及び事業税	280,635	424,770
法人税等調整額	55,965	316,319
法人税等合計	336,601	108,450
四半期純利益	1,100,794	817,371
非支配株主に帰属する四半期純損失()	-	14,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,100,794	832,255

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	1,100,794	817,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,934	10,513
為替換算調整勘定	40,641	40,711
持分法適用会社に対する持分相当額	2,187	2,455
その他の包括利益合計	59,388	32,653
四半期包括利益	1,160,182	850,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,160,182	862,053
非支配株主に係る四半期包括利益	-	12,027

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第1 四半期連結会計期間より、新たに設立したNordic VR Startups Oy及び株式会社gumi VRを、連結の範囲に含めております。

第2 四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社FgG及びgumi ventures3号投資事業有限責任組合を、連結の範囲に含めております。なお、株式会社veaconは、清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3 四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社gumi Westは、株式会社gumiに吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3 四半期連結会計期間より、株式会社Fuji&gumi Gamesは、株式売却により持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 5月 1日 至 平成29年 1月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成29年 5月 1日 至 平成30年 1月31日)
減価償却費	263,850千円	507,593千円
のれんの償却額	51,681 "	51,681 "

(株主資本等関係)

前第3 四半期連結累計期間(自 平成28年 5月 1日 至 平成29年 1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年 7月27日開催の第9 期定時株主総会の決議により、平成28年 8月30日を効力発生日として、資本準備金の額8,938,894千円を減少し、その他資本剰余金に振替え、会社法第452条の規定に基づき、資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金5,060,988千円を減少して繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。

この結果、当第3 四半期連結会計期間末において、資本金が8,980,989千円、資本準備金が32,094千円になっております。

また、当社は、平成29年 1月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3 項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第3 四半期連結累計期間において、自己株式を1,058,400千円(980,000株)取得しております。

この結果、当第3 四半期連結会計期間末における自己株式の残高は1,058,400千円となっております。

当第3 四半期連結累計期間(自 平成29年 5月 1日 至 平成30年 1月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成29年1月31日)

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイルオンライン ゲーム事業	VR/AR事業	
売上高			
外部顧客への売上高	21,053,547	300	21,053,847
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	21,053,547	300	21,053,847
セグメント利益又は損失()	1,349,063	196,345	1,152,718

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

経営判断の迅速化と投資効率の最大化を図るべく平成29年6月12日に株式会社gumi VRを設立したことに伴い、報告セグメントとして「VR/AR事業」を新たに追加しております。従来は「モバイルオンラインゲーム事業」の単一報告セグメントでありましたが、「モバイルオンラインゲーム事業」と「VR/AR事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間につきましては、「モバイルオンラインゲーム事業」の単一セグメントに変更はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額	36.88円	28.48円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	1,100,794	832,255
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	1,100,794	832,255
普通株式の期中平均株式数(株)	29,846,240	29,227,021
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	36.57	28.27
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	254,976	214,237
(うち新株予約権(株))	(254,976)	(214,237)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年3月9日

株式会社gumi
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢部 直哉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田中 計士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社gumiの平成29年5月1日から平成30年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成29年11月1日から平成30年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年5月1日から平成30年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社gumi及び連結子会社の平成30年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。